

2026 年 10 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社トレードワークス
代表者名 代表取締役社長 齋藤 正勝
(コード番号：3997 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 徳島 直哉
(TEL. 03-6230-8900)

(開示事項の経過) 当社が提供するシステムへの不正アクセスに関するお知らせ

当社が岩井コスモ証券株式会社（以下「同社」といいます。）に提供するインターネット取引システムへの不正アクセスにつきましては、2026 年 10 月 16 日付「当社が提供するシステムへの不正アクセスに関するお知らせ」（以下「第 1 報」といいます。）において速報的内容をお知らせいたしました。その後の状況および本件による損害の見込額がある程度明らかになってまいりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

お客様をはじめ関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、改めて深くお詫び申し上げます。

記

1. 経緯と現在の状況

本件は、当社が同社に提供するシステムの一部の管理機能の設定上の不備を突いて、第三者が当該システムに不正なアクセスをし、当該機能を利用して不正な取引をしたものです。当社は 2026 年 10 月 14 日に不正なアクセスを検知し、速やかに当該アクセスの遮断を実施したため、以降、不正なアクセスによる侵入および不正な取引は発生しておりません。

同社の公表のとおり、本件により同社のお客様の口座において意図しない売買注文が成立しましたが、同社において同日中に取引前の状態に復元されており、お客様に金銭的なご負担は生じておりません。また、お客様の資金の不正な流出は確認されておりません。同社のインターネット取引システムは、本件発生後も継続して稼働しております。

2. 情報漏洩に関する調査の状況

2026 年 10 月 16 日付でお知らせした情報漏洩につきましては、その後の調査により、漏洩した可能性のある情報の対象は 4,975 名（第 1 報時点の 4,611 名に、調査の過程で新たに判明した 364 名を加えたもの）となりました。これは、第 1 報でお知らせした不正アクセスの際に生じていたものを再調査により把握したものであり、その後の新たな不正アクセスによるものではありません。対象のお客様には、同社より個別にご連絡しております。

3. 損害の見込額

本件に起因する損失は、現時点で約 50 百万円と見込んでおり、2026 年 12 月期第 4 四半期において特別損失として計上する見込みです。なお、現時点の見込額であり、確定した額ではありません。損害額が確定した時点で、改めてお知らせいたします。

4. 原因と再発防止策

原因は、システムの一部の管理機能の設定上の不備により、本来は限定された環境からのみ利用されるべき機能が外部から利用できる状態にあったことです。当社は、当該機能を外部から利用できないよう恒久的に是正したうえで、接続元の制限、不正なアクセスの検知・遮断の強化および監視体制の拡充を実施しました。あわせて、第三者機関の知見も活用しながら、システム全体の点検とセキュリティ対策の強化を継続して進めております。

また、本件を踏まえ、セキュリティに係る報告基準および情報共有の仕組みを見直し、再発防止に努めてまいります。

5. 当社が提供する他のシステムへの影響

当社は、他の金融機関に提供するシステムについて点検を実施し、必要な対策を講じております。現時点において、他の金融機関に提供するシステムにおいて、本件と同様の事象は確認されておられません。

6. サイバー保険について

当社はサイバー保険に加入しており、本件への適用を見込んでおります。現在、保険会社への事故通知を行い、所定の手続を進めております。

7. 業績への影響

本件が当社の2026年12月期の連結業績に与える影響については、上記の損害の見込額に加え、当社の対応費用ならびにサイバー保険の適用範囲を含めて精査中であり、現時点では通期連結業績予想の修正は行っておりません。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

8. 今後の対応

当社は、同社および関係当局と連携し、本件の対応を継続してまいります。損害額が確定した場合、その他開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上